

## 2025.03.22 國松セミナー

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

マイコプラズマかマイコプラズマでない肺炎か検査追加をしてもわからない場合重症マイコプラズマ症と考えるところが國松先生らしい考え方で面白かったです。 外来診療のアート=匠、匠とは考えめぐらし見つけた方法や工夫のことだったんですね。國松先生の世界にはまりそうです。

めまいからの慢性の経過のケース、大変印象に残りました。

やっぱりバイポみ症例の管理は勉強になります 人柄が知れてよかった

國松先生の、現場目線のコメント全て

マイコプラズマ症の診断方法 あそこまで自信をもってマイコプラズマと診断するのは難しいと感じたがさすが先生と感じた。

患者さんの気質を考えるととても勉強になりました。

パルボ患者さんへの対応のしかた

患者さんが悩んでいたら、まず受け止め一緒に悩んでみる うつ状態やパニックでの SSRI の使い方 診断に喜びすぎないこと

めまい契機のパニック障害の病態仮説について

咳喘息の診療スタイル アートの定義 喘息の分類

どういうわけでこうなったか。咳嗽：モノセラピーしない。

どれもですが、鑑別診断ありきではないということですね。

國松先生の言葉が、一言一言が生理的に響いてくるというか、ずっと頭に入ってきました。これが良くわからん、っていうタイプの医師も…いるのかなあ。もちろん高度な技術ですけど。一番肝心なことを言語化してくれる稀有な臨床家だとも思います。

74歳女性の症例で愁訴をサクサク分析して、國松流に治療につなげていかれたこと。こういう患者さんは多いので実践につながります。

喫煙の患者の対応とか パルボは勿体ぶってみる笑 りんご病という病名がよくない。

## 2025.03.23 午前の部 皮膚科セミナー

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

とにかくわかりやすかったです。

皮膚病片は苦手意識がありますが、とても分かりやすく、ためになりました。

どれも日常遭遇しやすい話題でしたので。その中でも蜂窩織炎の話題が心に残った

DPP-4 阻害薬投与中の人5年くらいは類天疱瘡のこと注意します。

皮疹も見た目の一発診断とはいかず、病歴や経過が重要。

直観に頼らない皮疹診断 ツルツルとザラザラ

系統だった講義を聞くことがなかったので全体的にととてもためになった

とても logical で分かりやすかったです。 紅斑の病態 皮疹の原因を理論的に考える。

盛り上がらない蕁麻疹。水疱の大きさによる鑑別。

抗真菌薬を安易に処方してはいけない。 皮膚科のことについて体系的に学びました。先生のご著書は2冊拝読しておりましたがあらためて勉強になりました。

ザラザラ、ツルツル 皮疹を病態的に解説して下さったこと

全部。 皮膚科の診断プロセスが臍げに理解できた。 紅斑の奥深さ

## 2025.03.23 午後の部 総合診療医やプライマリケア医に必要なウィメンズヘルス

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

骨粗鬆症についてのディスカッション

帯下が症状と性状で診断できて治療できるということがわかり、実践的でした。

更年期障害 子宮留のう症

ウェルビーイングの会場の皆様の議論が面白かったです

ACP と well being。子宮脱リング。

帯下の見分け方は簡単。

帯下の鑑別

尿もれの診療明日から早速実行してします。

診療でヘルスマンテナンスをチェックする。

柴田先生の更年期障害のみかた

子宮脱のペッサリーが自己挿入できるように作られているということ